

(別記様式第 1 号)

計画作成年度	令和 5 年度
計画主体	長野県 小布施町

小布施町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担 当 部 署 名 小布施町 産業振興課 農業振興係
所 在 地 長野県上高井郡小布施町大字小布施 1491-2
電 話 番 号 0 2 6 - 2 4 7 - 3 1 1 1
F A X 番 号 0 2 6 - 2 4 7 - 3 1 1 3
メールアドレス nougyou@town.obuse.nagano.jp

- (注) 1 共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記入する。
- 2 被害防止計画の作成に当たっては、別添留意事項を参照の上、記入等すること。

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン、カラス
計画期間	令和5年度～令和7年度
対象地域	小布施町

(注) 1 計画期間は、3年程度とする。

2 対象地域は、単独で又は共同で被害防止計画作成する全ての市町村名を記入する。

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（令和3年度）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品 目	被害数値
ニホンザル	果樹	0.23ha 9千円
イノシシ	果樹 野菜	0.23ha 3千円
カラス	果樹 水稻	0.45ha 222千円
ニホンジカ	果樹	0.5ha 40千円
ハクビシン	果樹	0.12ha 76千円

(注) 主な鳥獣による被害品目、被害金額、被害面積（被害面積については、水産業に係る被害を除く。）等を記入する。

(2) 被害の傾向

○ニホンザル

- ・生息状況→雁田山に生息
- ・被害発生時期→果樹収穫期（7月～11月）
- ・被害傾向→ぶどう、りんごの収穫前に被害が発生。被害地域は雁田山沿いのみであり、被害額は横這い傾向である。

○イノシシ

- ・生息状況→雁田山、千曲川河川敷に生息
- ・被害発生時期→水稻育成期、融雪後から積雪まで
- ・被害傾向→農地の掘り起こしが発生。被害地域は拡大傾向にあり、人家に近いところでも目撃されている。被害額は横ばい傾向である。

○ニホンジカ

- ・生息状況→雁田山、千曲川河川敷に生息
- ・被害発生時期→通年
- ・被害傾向→被害地域及び被害額ともに横這い傾向である。

○ハクビシン

- ・生息状況→町内全域に生息
- ・被害発生時期→通年、特に果樹収穫期
- ・被害傾向→小布施町雁田地区から市街地区の人家まで広範囲に出没、倉庫等の備蓄果樹、野菜等に被害がみられる。主に空き家付近で確認されている。

○カラス

- ・生息状況→町内全域で確認
- ・被害発生時期→播種期～収穫期
- ・被害傾向→穀物や果樹等への被害が発生。被害地域は町内全域であり、被害額については横這いである。

- (注) 1 近年の被害の傾向（生息状況、被害の発生時期、被害の発生場所、被害地域の増減傾向等）等について記入する。
- 2 被害状況がわかるようなデータ及び地図等があれば添付する。

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値（令和3年度）		目標値（令和7年度）	
	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額
ニホンザル	0.23ha	9 千円	0.21ha	8 千円
イノシシ	0.23ha	3 千円	0.21ha	2 千円
ニホンジカ	0.5ha	40 千円	0.45ha	36 千円
ハクビシン	0.12ha	76 千円	0.11ha	70 千円
カラス	0.45ha	222 千円	0.41ha	210 千円

- (注) 1 被害金額、被害面積等の現状値及び計画期間の最終年度における目標値を記入する。
- 2 複数の指標を目標として設定することも可能。

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	・ 猟友会によるくくり罠、捕獲檻による捕獲、銃器による駆除 ・ 捕獲鳥獣の埋設処理 ・ 新規狩猟者確保のための補助事業	・ 猟友会員の高齢化 ・ 捕獲獣処理に係る負担の増加

防 護 柵 の 設 置 等 に 関 す る 取 組	・侵入防止策の設置（H23、24 更 新、機能強化） ・協議会による電気柵の維持管 理費用の一部負担	・防止柵や緩衝帯の維持管理 ・防護柵が未設置の地区があるこ と
生 息 環 境 管 理 そ の 他 の 取 組	・緩衝帯整備（H16～R4）	・放任果樹の除去や追払い活動 に対して多くの住民の理解と協 力を得ること

（注） 1 計画対象地域における、直近3ヶ年程度に講じた被害防止対策と課題について記入する。

2 「捕獲等に関する取組」については、捕獲体制の整備、捕獲機材の導入、捕獲鳥獣の処理方法等について記入する。

3 「防護柵の設置等に関する取組」については、侵入防止柵の設置・管理、追上げ・追払い活動等について記入する。

4 「生息環境管理その他の取組」については、緩衝帯の設置、放任果樹の除去、鳥獣の習性、被害防止技術等に関する知識の普及等について記入する。

（5）今後の取組方針

<p>侵入防止柵、銃器、捕獲檻、緩衝帯整備など総合的な対策を講じていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵未設置地区（雁田不動地区）での被害防止を目的に柵設置について検討する。既設の侵入防止柵については、引き続き維持・修繕する。 ・近年増加しているカラスの個体数を減らす取組として、放任果樹の除去に努め、同時に捕獲檻の運用により個体数の減少に努める。 ・サルは人に馴れる前に、追払い活動により人への恐怖心を学習させる。群れの隠れ家となっているような林は枝払いを行い見通し良くする。木をつたって電柵を越えてこないような緩衝帯整備を実施する。 ・緩衝帯整備、広報等を通じ、猟友会員を始め、鳥獣対策に携わる人材を広く募集し、確保と育成を進める。
--

（注） 被害の現状、従来講じてきた被害防止対策等を踏まえ、被害軽減目標を達成するために必要な被害防止対策の取組方針について記入する。

（ICT（情報通信技術）機器やGIS（地理情報システム）の活用等、対策の推進に資する技術の活用方針を含む。）。

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

小布施町農作物有害鳥獣駆除推進協議会から会員である須高猟友会へ農作物被害等を与える有害鳥獣の捕獲を依頼する。

- (注) 1 鳥獣被害対策実施隊のうち対象鳥獣捕獲員の指名又は任命、狩猟者等の外部団体への委託、わなの見回り補助等による捕獲者のサポート等による対象鳥獣の捕獲体制を記入するとともに、捕獲に関わる者のそれぞれの取組内容や役割について記入する。
- 2 対象鳥獣捕獲員を指名又は任命する場合は、その構成等が分かる資料があれば添付する。
- 3 捕獲等を推進する上で、被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に従事している者にライフル銃を所持させる必要がある場合には、そのことについて記入する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
5 6 7	ニホンザル イノシシ ニホンジカ ハクビシン カラス	・ わな、捕獲檻の購入と設置を継続する。 ・ 新規狩猟者確保のための補助事業を継続する。

- (注) 捕獲機材の導入、鳥獣を捕獲する担い手の育成・確保等について記入する。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方
・ 捕獲を行いながら野生鳥獣が田畑や里に出にくい環境整備を行う。 ・ ニホンザル、ニホンジカ、イノシシについては、特定鳥獣保護管理計画に基づき、近年の捕獲実績や生息状況を勘案して捕獲計画を立てる。 ・ ハクビシンについては、近年の捕獲実績を勘案。 ・ カラスについては、大型捕獲檻等を運用し、捕獲を強化する。

- (注) 近年の対象鳥獣の捕獲実績、生息状況等を踏まえ、捕獲計画数等の設定の考え方について記入する。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	5年度	6年度	7年度
ニホンザル	10	10	10
イノシシ	15	15	15
ニホンジカ	10	10	10
ハクビシン	30	30	30
カラス	200	200	200

(注) 対象鳥獣の捕獲計画数、個体数密度等を記入する。

捕獲等の取組内容
主に農繁期を捕獲時期とし、猟友会、地元対策組合による巡回を関係機関が連携して行う。

- (注) 1 わな等の捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。
- 2 捕獲等の実施予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容

- (注) 被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に従事している者にライフル銃を所持させて捕獲等を行う場合には、その必要性及び当該被害防止計画に基づく対象鳥獣の捕獲等に従事している者による捕獲手段、捕獲の実施予定時期、捕獲予定場所等について記入する。

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
小布施町	ニホンジカ

- (注) 1 都道府県知事から市町村長に対する有害鳥獣捕獲等の許可権限の委譲を希望する場合は、捕獲許可権限の委譲を希望する対象鳥獣の種類を記入する（鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号。以下「法」という。）第4条第3項）。
- 2 対象地域については、複数市町村が捕獲許可権限の委譲を希望する場合は、該当する全ての市町村名を記入する。

4. 防護柵の設置等に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	5年度	6年度	7年度

- (注) 1 設置する柵の種類、設置規模等について記入する。
 2 侵入防止柵の設置予定場所を記した図面等を作成している場合は添付する。

(2) 侵入防止柵の管理等に関する取組

対象鳥獣	取組内容		
	5年度	6年度	7年度
ニホンザル イノシシ ニホンジカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会や地元対策組合による見回り ・ 緩衝帯整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会や地元対策組合による見回り ・ 緩衝帯整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会や地元対策組合による見回り ・ 緩衝帯整備

- (注) 侵入防止柵の管理、追上げ・追払い活動等に関する取組等について記入する。

5. 生息環境管理その他被害防止施策に関する事項

年度	対象鳥獣	取組内容
5	ニホンジカ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緩衝帯の整備 ・ 電柵の適切な管理 ・ 放任果樹対策の周知
6	ニホンザル	
7	イノシシ	
	ハクビシン カラス	

- (注) 緩衝帯の設置、里地里山の整備、放任果樹の除去、被害防止に関する知識の普及等について記入する。

6. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
長野地域振興局	市町村へのアドバイス等
須坂警察署	適正な銃器の使用等指導
長野地域野生鳥獣対策チーム	総合的な野生鳥獣対策の助言・指導

- (注) 1 関係機関等には、都道府県、警察、市町村、鳥獣被害対策実施隊、猟友会等の名称を記入する。
- 2 役割欄には、緊急時又は平常時において、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。
- 3 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関して、規程等を作成している場合は添付する。

(2) 緊急時の連絡体制

--

- (注) 緊急時の各関係機関等の連絡体制及び連絡方法等をフロー図等により記入する。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

雁田山に埋設場所設置。捕獲後埋設。

- (注) 適切な処理施設での焼却、捕獲等をした現場での埋設等、捕獲等をした鳥獣の処理方法について記入する。

8. 捕獲等をした対象鳥獣の食品・ペットフード・皮革としての利用等その有効な利用に関する事項

(1) 捕獲等をした鳥獣の利用方法

食品	
ペットフード	
皮革	
その他 (油脂、骨製品、角製品、動物園等で	

のと体給餌、学術研究等)	
--------------	--

(注) 利用方法ごとに、現状及び目標を記入する。

(2) 処理加工施設の取組

--

(注) 処理加工施設を整備する場合は、年間処理計画頭数、運営体制、食品等としての安全性の確保に関する取組等について記入する。

(3) 捕獲等をした対象鳥獣の有効利用のための人材育成の取組

--

(注) 処理加工に携わる者の資質の向上や、捕獲から搬入までの衛生管理の知識を有する者の育成の取組等について記入する。

9. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	
構成機関の名称	役割
小布施町	有害鳥獣対策総括
ながの農協	防除体制のアドバイス
小布施町農業委員会	被害等の調査、実態把握
須高猟友会	有害鳥獣の捕獲
ながの農協小布施りんご部会 もも部会、ぶどう部会	被害等の把握
小布施土地改良区	被害等の把握
雁田地区有害鳥獣類防止対策組合	地元有害鳥獣対策
長野地域野生鳥獣被害対策チーム	対策支援・アドバイザー

(注) 1 関係機関等で構成する協議会を設置している場合は、その名称を記入するとともに、構成機関欄には、当該協議会を構成する関係機関等の名称を記入する。

2 役割欄には、各構成機関等が果たすべき役割を記入する。

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
長野地域振興局	市町村へのアドバイス等
長野農業改良普及センター	〃
須坂警察署	適正な銃器の使用等指導
長野地域野生鳥獣対策チーム	総合的な野生鳥獣対策の助言・指導

(注) 1 関係機関欄には、協議会の構成機関以外の関係機関等の名称を記入する。

2 役割欄には、各関係機関等が果たすべき役割を記入する。

3 協議会及びその他の関係機関からなる連携体制が分かる体制図等があれば添付する。

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

実施隊を平成 25 年 3 月 1 日に設置

(注) 1 被害状況を勘案し、鳥獣被害対策実施隊を設置する必要があると認める場合は、その設置に関して設置に向けた基本的な方針や検討の状況、設置予定時期等について記入する。

2 鳥獣被害対策実施隊を設置している場合は、鳥獣被害対策実施隊が行う被害防止施策、その規模、構成、農林漁業者や農林漁業団体職員、地域住民等の多様な人材の活用策等を記入するとともに、実施体制がわかる体制図等があれば添付する。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

--

(注) 将来的な被害防止対策の実施体制の維持・強化の方針その他被害防止施策の実施体制に関する事項（地域の被害対策を企画・立案する者の育成・確保や現場で対策を実施する者の知識・技術の向上等の被害対策に関する人材育成の取組を含む。）について記入する。

10. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

・被害防止施策の実施にあたり、近隣市町村との情報共有を積極的に行ない、必要に応じて広域的な施策等を講じる ・その他の鳥獣類について被害や町中での出没が増加傾向にあるので被害防止に努める

(注) 近隣市町村と連携した広域的な被害防止対策等その他被害防止施策の実施に関し必要な事項について記入する。